

平成31年度8020公募研究

特別支援学校の給食における医療職および教育職の円滑な医教連携実現にむけた調査

# 特別支援学校の給食時における 円滑な医教連携実現のために行った アンケート結果報告

ご希望のあった全国の特別支援学校に行った郵送法による調査

日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座  
遠藤眞美，猪俣英理，地主知世，野本たかと

2020.5.27日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座  
特別支援学校の給食における医療職および教育職の円滑な医療連携実現に向けた調査

# 調査の背景

### 機能の3領域

認知	事物、事象、場面や状況を認識する力
運動	粗大運動や手指の運動、各種協調運動 など
情意	注意力、集中力、協力性、忍耐力、意欲 など

食事は栄養摂取だけが目的ではなく、人生を充実する経験の時間や場といえます。食事の機能は本能ではなく、認知、運動、情意で示される機能の3領域に基づいた学習によって獲得されます。3領域に何かしらの困難性を伴う障害児者は、各領域の学習不足(未学習)や誤学習によって摂食機能障害を伴い、食事に苦慮する場合があります。摂食機能障害の重症化予防には、発達期からのシームレスな学習環境の提供が重要であり、“摂食嚥下（リ）ハビリテーション”などの医学的指導が求められます。

医療職による指導内容を家庭だけで学習するには限界があります。我が国は文部科学省のもとで学校給食が実施され、特別支援学校の提供率は90%以上です。つまり、毎日繰り返される給食が児童生徒の『食べる力』を育む貴重な時間となるわけです。

一方、学校での窒息報告は絶えません。私たちは、その対応を教職員だけに頼るのではなく、医療職による医療的支援と連携をすることで予防・解決ができるのではと考えています。

# 本調査の目的

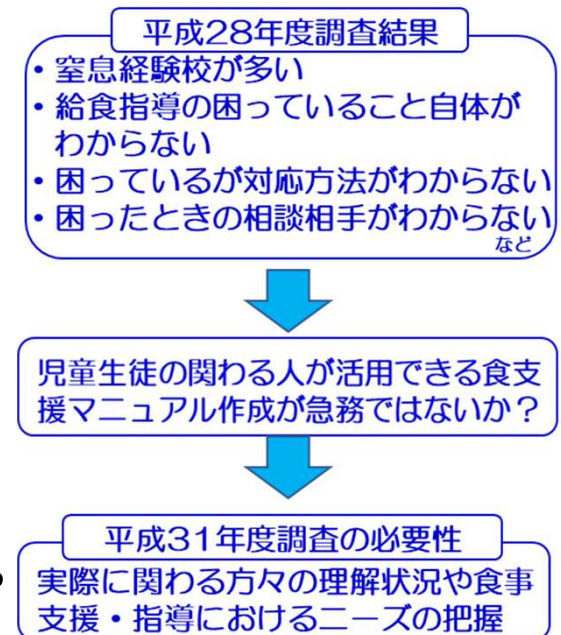
給食に関する医教連携は一部の特別支援学校で行われているものの、その詳細や苦勞についての報告は散見されるのみでした。

そこで、平成28年に全国の特別支援学校に対して給食指導および医教連携の現状を調査致しました。

また、特別支援学校の教職員の方と関わる中で、教員免許取得時や学校着任後に給食指導の知識を得る機会が少なく、医療職への相談を躊躇しやすいといったお話も伺いました。

以上から、より安全で効果的な給食指導のためには児童生徒に関わる方が活用できる食支援マニュアル作成が急務と考えましたが、医療職による作成では専門用語の多用による理解困難や現場のニーズとマッチしない可能性も否定できません。

そこで、特別支援学校の教職員の方に率直なご意見をお聞かせいただき、ニーズにあった相互コミュニケーションができるマニュアルを作成したいと考え、本調査を行わせて頂きました。



# 郵送させて頂いた調査票

回答回収予定期間 令和2年3月1日～3月31日

※調査票はWEBページの「関連資料」にもアップロードしています。

\*本回答結果を学会発表等の研究に使用することに御同意いただけますか。

同意する 同意しない

1. ご自身のことについてお聞きします。

(1) ご勤務先について教えてください。

① 都道府県を教えてください。 → ( )

② 郵便番号を教えてください。 → ( )

(2) 現在、受け持っている学年を教えてください。

- a. 小学部低学年 d. 高等部  
b. 小学部高学年 e. その他→ ( )  
c. 中学部

(3) 日常生活で、知的障害児と肢体不自由児の関わりはどちらが多いですか。

- a. 知的障害児 c. 知的障害児・肢体不自由児に関わる割合は同じ  
b. 肢体不自由児 d. その他→ ( )

(4) 現在、給食において食事介助・食事指導を行っていますか。

- a. はい  
b. いいえ  
c. その他→ ( )

(5) 給食時に、担当する児童・生徒に対して筋肉のマッサージなどの実施経験はありますか。

- a. はい b. いいえ

(6) 過去に知的障害児の食事介助・食事指導を行ったことがありますか。

- a. はい b. いいえ

(7) 過去に肢体不自由児の食事介助・食事指導を行ったことがありますか。

- a. はい b. いいえ

(8) 過去の児童・生徒の食事介助・食事指導において、命の危険を感じる事項はありましたか。

- a. 食事介助経験なし、または、危険を感じた経験なし  
b. 窒息  
c. むせ  
d. 呼吸切迫  
e. アレルギー反応  
f. その他→ ( )

(9) 学校給食時間に医療職が来校して行う摂食指導について、ご自身の経験はありますか。

- a. 現在の学校では実施されており、自身が積極的に参加している  
b. 現在の学校では実施されているが、自身があまり関わっていない(担当でない)  
c. 過去の学校では実施されており、自身が積極的に参加していた  
d. 過去の学校では実施されていたが、自身があまり関わっていなかった(担当でない)  
e. 知っているが、過去も現在も実際に実施している学校に所属したことはない  
d. 初めて知った  
e. その他→ ( )

2

2. 食事の動作を示す用語に○をしてください。

(1) 食物を上下の唇で口の中に取り込む動き

- a. 嚥下 d. 咀嚼  
b. 捕食 e. わからない  
c. 押しつぶし f. その他→ ( )

(2) 舌の上の食物を舌と上顎(あご)で潰す動き

- a. 嚥下 d. 咀嚼  
b. 捕食 e. わからない  
c. 押しつぶし f. その他→ ( )

(3) 食物を上下の歯で粉砕し、それを唾液と共にまとめる動き

- a. 嚥下 d. 咀嚼  
b. 捕食 e. わからない  
c. 押しつぶし f. その他→ ( )

(4) 食物を飲み込む動き

- a. 嚥下 d. 咀嚼  
b. 捕食 e. わからない  
c. 押しつぶし f. その他→ ( )

3. 摂食嚥下障害の状況について、用語に○をしてください。

(1) 食べ物を飲み込む際に、あごと舌が一体となってガクガクと上下に動かして飲む状態

- a. 嚥下反射の消失 c. 窒息 i. 丸のみ  
b. 乳児(様)嚥下 f. 誤嚥 j. 食塊形成不全  
c. 逆嚥下 g. むせ k. わからない  
d. 舌突出嚥下 h. 鼻咽腔閉鎖不全 l. その他→ ( )

(2) 食べ物を飲み込む際に、舌がうまく上にあがらず舌の奥(舌根)を押し下げて飲む状態

- a. 嚥下反射の消失 c. 窒息 i. 丸のみ  
b. 乳児(様)嚥下 f. 誤嚥 j. 食塊形成不全  
c. 逆嚥下 g. むせ k. わからない  
d. 舌突出嚥下 h. 鼻咽腔閉鎖不全 l. その他→ ( )

(3) 食べ物を飲み込む際に、舌を前に出して飲む状態

- a. 嚥下反射の消失 c. 窒息 i. 丸のみ  
b. 乳児(様)嚥下 f. 誤嚥 j. 食塊形成不全  
c. 逆嚥下 g. むせ k. わからない  
d. 舌突出嚥下 h. 鼻咽腔閉鎖不全 l. その他→ ( )

(4) 肺に異物が落ちるのを防ぐために、ゴホゴホと気管支が示す防衛反応

- a. 嚥下反射の消失 c. 窒息 i. 丸のみ  
b. 乳児(様)嚥下 f. 誤嚥 j. 食塊形成不全  
c. 逆嚥下 g. むせ k. わからない  
d. 舌突出嚥下 h. 鼻咽腔閉鎖不全 l. その他→ ( )

3



(5) 異物によって、気道がふさがれた状態

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息      | i. 丸のみ      |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥      | j. 食塊形成不全   |
| c. 逆嚥下     | g. むせ      | k. わからない    |
| d. 舌突出嚥下   | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他⇒ ( ) |

(6) 食べたものが、鼻から漏れる状態

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息      | i. 丸のみ      |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥      | j. 食塊形成不全   |
| c. 逆嚥下     | g. むせ      | k. わからない    |
| d. 舌突出嚥下   | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他⇒ ( ) |

(7) 舌の弱い筋力や動きが不安定なために、食物を舌と上あごでつぶさずに飲む状態

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息      | i. 丸のみ      |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥      | j. 食塊形成不全   |
| c. 逆嚥下     | g. むせ      | k. わからない    |
| d. 舌突出嚥下   | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他⇒ ( ) |

(8) 舌や頬の筋力が弱いために、食物を飲み込みに適した形態にまとめることができない状態

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息      | i. 丸のみ      |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥      | j. 食塊形成不全   |
| c. 逆嚥下     | g. むせ      | k. わからない    |
| d. 舌突出嚥下   | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他⇒ ( ) |

#### 4. 食事前に口の周囲の筋肉を刺激するバンゲード法を行うことがあります。

(1) バンゲード法をご存知ですか。

- a. はい → (2)へ  
b. いいえ → 5.へ

(2) バンゲード法は、訓練の目的によっていくつかの方法があります。食事時の様子と訓練時の写真を記載しました。そのような場合に行う訓練法の名称に○をしてください。

① 食物の処理時に舌が出てきたり、飲み込む際に舌が出る方に行う訓練法

- |         |          |
|---------|----------|
| a. 舌訓練  | d. わからない |
| b. 口唇訓練 | e. その他⇒  |
| c. 頬訓練  | ( )      |



② 常に口が開いていたり、食物を上下の唇で取り込めない、食物を歯でそぎ取って食べる方に行う訓練法

- |         |          |
|---------|----------|
| a. 舌訓練  | d. わからない |
| b. 口唇訓練 | e. その他⇒  |
| c. 頬訓練  | ( )      |



③ 咀嚼時にスムーズに頬の筋肉が動かずにかめない方に行う訓練法

- |         |          |
|---------|----------|
| a. 舌訓練  | d. わからない |
| b. 口唇訓練 | e. その他⇒  |
| c. 頬訓練  | ( )      |



4

#### 5. 給食指導および今後の展望に関するご意見ををお願いします。

(1) 給食指導を行う際に、必要な情報すべてに○をしてください。

- |                |            |
|----------------|------------|
| a. 食べる機能に関する知識 | c. 用語説明    |
| b. 給食指導での訓練法   | d. その他:( ) |

(2) 給食指導において医療職との連携(医教連携)についてお聞きします。

① 医教連携は必要だと思いますか。

- a. はい b. いいえ

② (2)①での回答に至った理由を教えてください。

⇒

(3) 今後、教員であればパーソナルコンピュータやスマートフォンで無料登録後に情報を得てダウンロードなども簡便にできる Web ページやアプリケーション(いわゆるアプリ)によるデジタルでの情報発信を考えています。

① デジタルで発信された情報を学校現場で応用できると思いますか。

- a. はい  
b. いいえ  
c. その他⇒ ( )

② デジタルで情報発信されるようになった際、一度は体験してみたいですか。

- a. はい  
b. いいえ

③ デジタルで得たい情報はどのようなものですか。すべてに○をしてください。

- a. 文字・イラストで構成された印刷できる形式のもの: PDF ファイルなど  
b. 動画による解説など  
c. アプリによる摂食機能の評価ツール: 状況を回答することで指導法が導けるアプリ  
d. 他の学校との Web 上での意見交換: Web 上の掲示板など  
e. その他:( )

(4) “食事支援における医療機関と教育機関の連携に向けて”(http://spc.ce.cst.nihon-u.ac.jp/)という Web ページを開設しました。

① 本ページを御覧いただけましたか。

- a. 今は見ることはできない。または、見る時間がない。 → (5)へ  
b. 見ようと試みたが、アクセスできなかった。または、見ることはできなかった。 → ②へ  
c. 見る必要はない、見るつもりはない。 → (5)へ

② Web ページについてのご意見をお聞かせください。

⇒

(5) その他、本調査にご意見があればご記入ください。

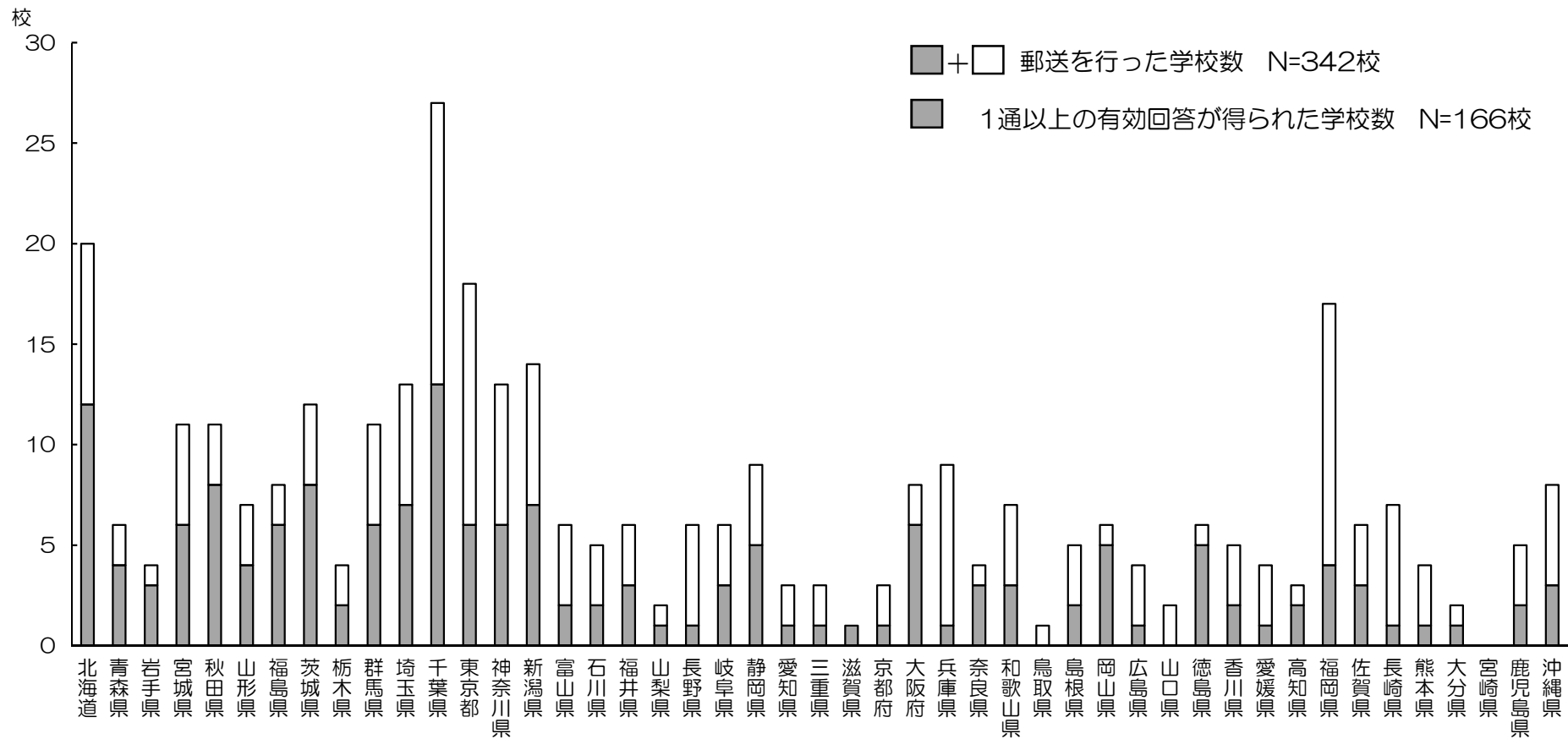
お忙しい中、ご協力をありがとうございました。



# 結 果

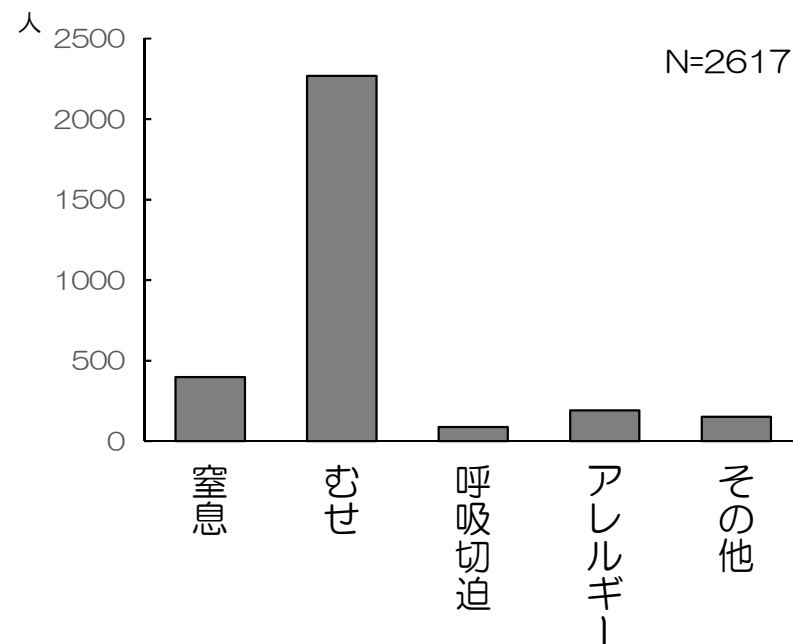
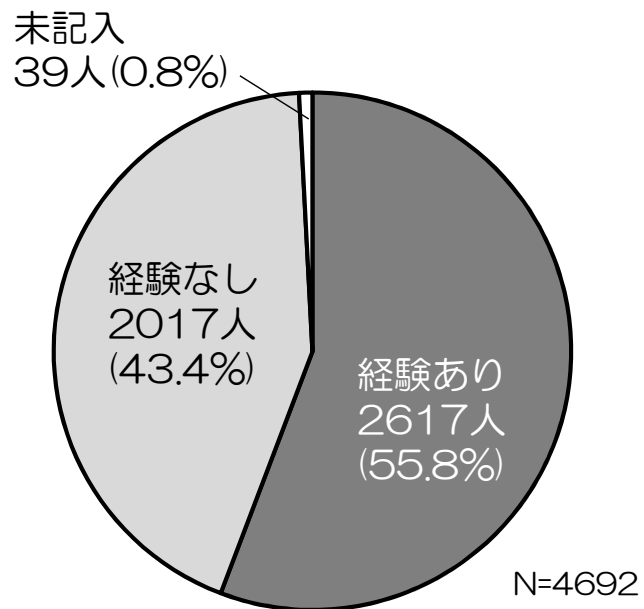
- ご返信を頂戴したアンケート数 4765通
- 回答結果の研究発表等に同意する 4692通
  - 回答結果の研究発表等に同意しない 73通

この後に示す結果は、ご同意いただいた4692人のみを対象としています。  
※新型コロナウイルス感染症予防対策による休校などの影響により、締め切り予定後の4月に到着した調査票も含めて分析しました。



※ 所在地に関して未記入1校は記載除外

## 都道府県別の調査票の郵送および有効回答が得れた学校数



a. 給食中に命の危険を感じた経験の有無

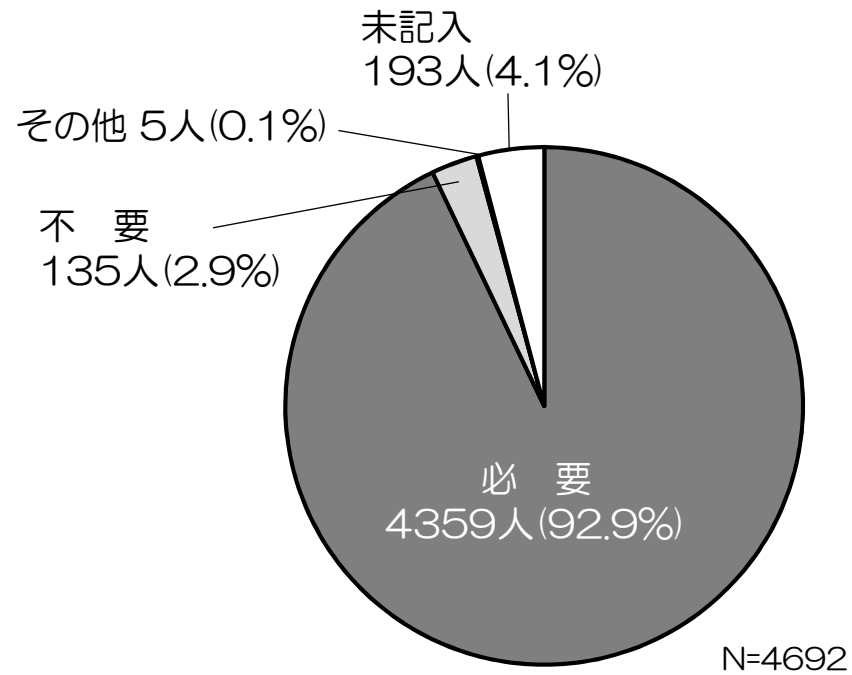
b. 命の危険を感じた事象（複数回答）

## 給食中に命の危険を感じた経験とその事象

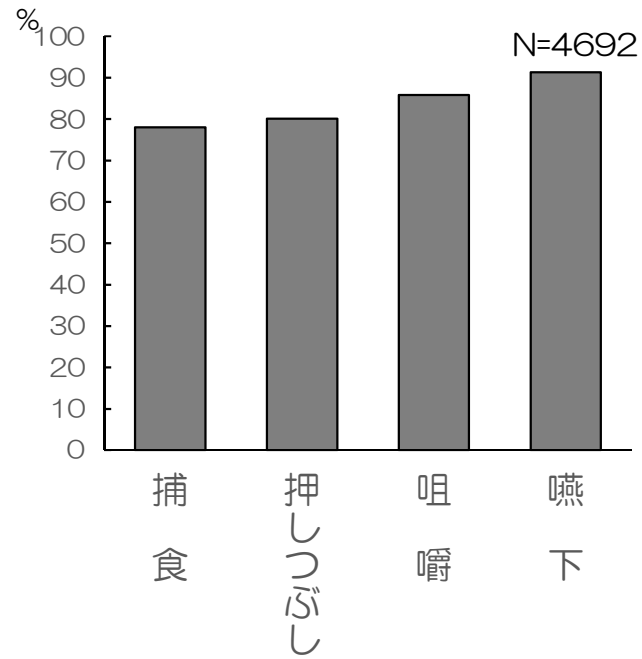
# 給食に関する医療職が 来校して行う摂食指導経験と参加状況

N=4692

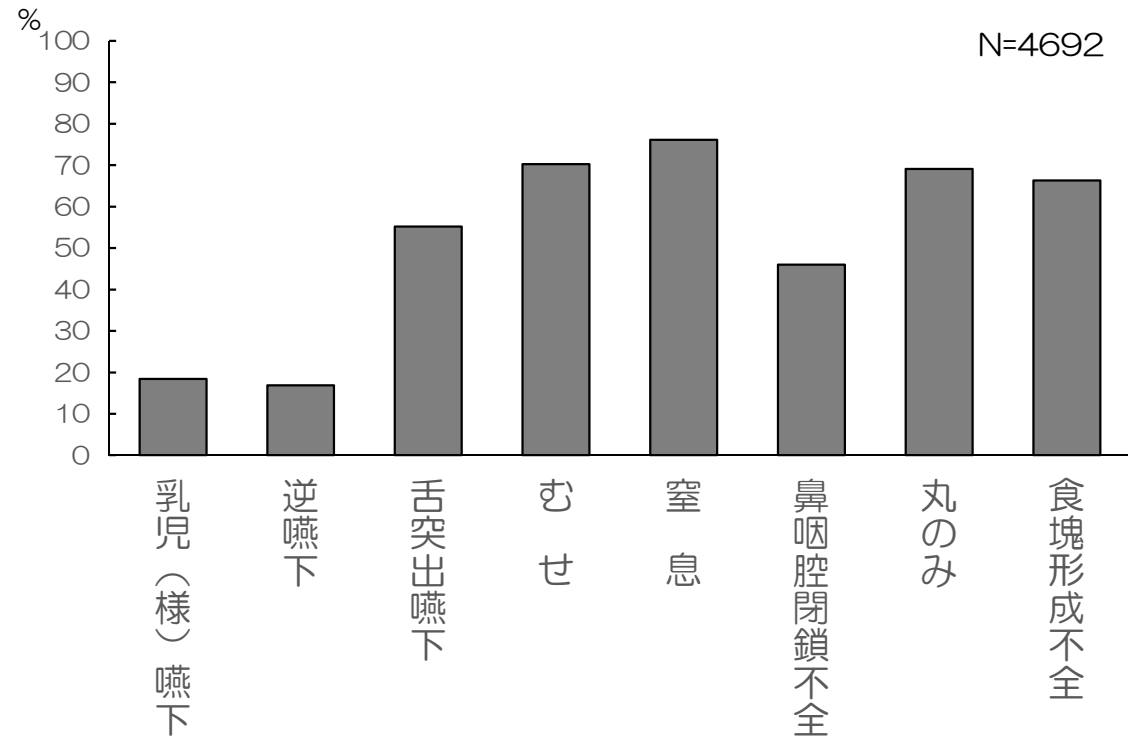
	人(%)
現在の学校で実施されており，積極的に参加している	676人(14.4%)
現在の学校で実施されてはいるが，積極的な関わりはない	1104人(23.5%)
現在の学校では実施はなく，過去の学校では実施があった	883人(18.8%)
知ってはいるが，実施校に所属したことがない	722人(15.4%)
初めて知った	1157人(24.7%)
その他	102人(2.2%)
未記入	48人(1.0%)



## 学校給食における医教連携の必要性



a. 摂食嚥下機能に関して



b. 摂食嚥下障害の状況に関して

## 摂食嚥下機能に関する動作および状況について “知っている”割合

# バンゲード法に関する知識

a. バンゲード法を知っていますか

b. バンゲード法を知っているとした  
教職員における各訓練法名を  
“知っている” 回答者

N=4692

回 答	人(%)
知っている	1217人(86.8%)
知らない	3365人(71.7%)
その他	4人(0.1%)
未記入	106人(2.3%)

N=1217

訓練法	人 (%)
舌訓練	1056人(86.8%)
口唇訓練	1098人(90.0%)
頬訓練	1098人(90.0%)



# 食事指導を行う際に必要な情報 (複数回答)

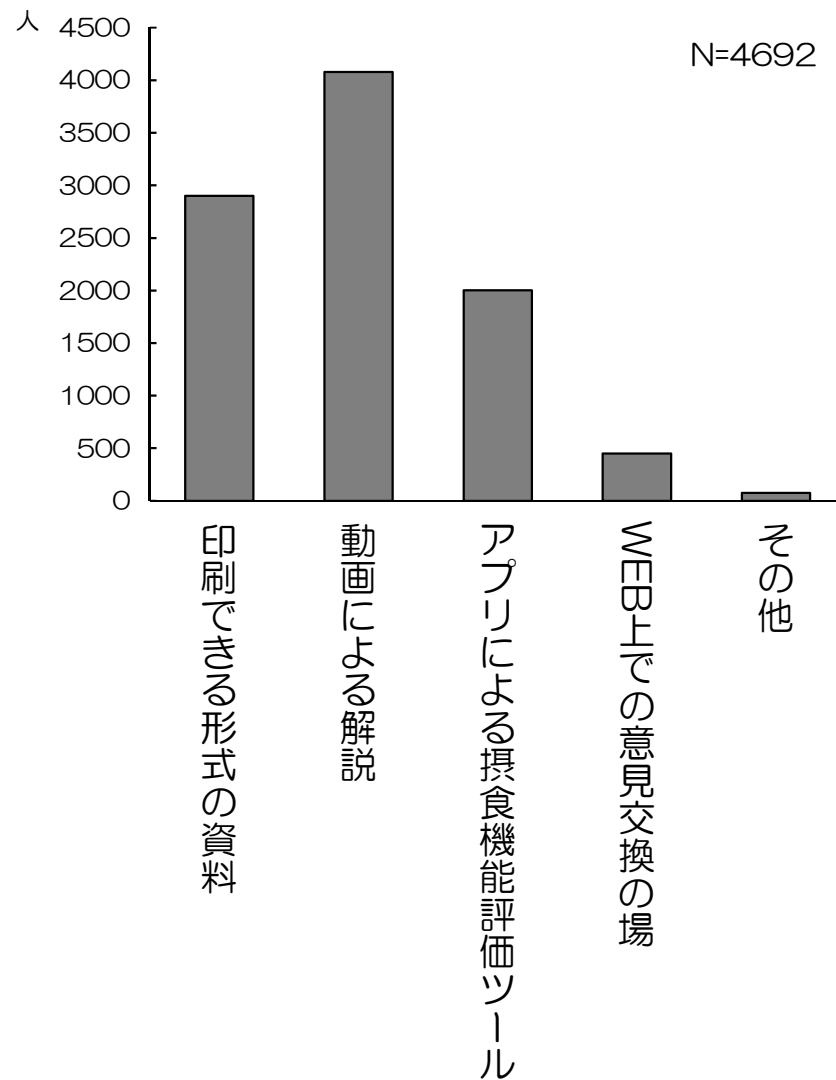
N=4692

必要な情報	人(%)
食べる機能に関する知識	4008人(85.4%)
給食指導での訓練法	3756人(80.1%)
用語説明	2181人(46.5%)
その他	388人(8.3%)

# 給食指導の関連情報を発信するデジタルツールの 学校現場における応用の可能性および体験希望

N=4692

		学校現場でのデジタルツールの応用				計
		応用可能	応用困難	その他	未記入	
デジタル 体験 希望	あり	4097人 (87.3%)	95人 (2.1%)	1人 (0.0%)	62人 (1.3%)	4255人 (90.7%)
	なし	184人 (3.9%)	35人 (0.7%)	4人 (0.1%)	7人 (0.2%)	230人 (4.9%)
	その他	3人 (0.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.0%)	4人 (0.1%)
	未記入	75人 (1.6%)	5人 (0.1%)	0人 (0.0%)	123人 (2.6%)	203人 (4.3%)
	計	4359人 (92.9%)	135人 (2.9%)	5人 (0.1%)	193人 (4.1%)	4692人 (100.0%)



## 学校給食における医教連携の必要性(複数回答)

## WEBページ【<http://spc.ce.cst.nihon-u.ac.jp/>】の 閲覧状況およびご意見

本結果速報には記載しておりませんが、WEBページ閲覧状況および内容についても多くのご意見を頂きました。本結果については、そのアクセスした時期によって、「検索のしやすさ」や「エラー」率が異なるようでご迷惑をおかけしました。現在は、“医教連携”などのキーワードでも比較的上位に候補としてあがってくるようです。お時間を割いて、ご協力頂きました皆様のご期待に沿えるよう、日々、WEBページのアップデートに励んでおります。

# お礼および今後の展望

この度は新型コロナウイルス感染症で大変な状況であるにもかかわらず、4700人を超える教職員の皆様にアンケートをご協力頂きまして誠にありがとうございました。

多くの教員の方々が児童生徒の給食に対してご尽力されている現状を理解することができました。また、私たちの活動や研究に対するたくさんのご意見やご期待を感じることもできました。今回、ご協力いただいたことが無駄にならないよう日々、正しく適切な情報発信に努めてまいりたいと思います。改めて、子どもたちが安全に“おいしく幸せに食べる”を実現できるように、教育職の皆様とより力を合わせて行きたいと実感した次第です。

今回、郵送した調査票でお聞きしました用語等につきましては、近日中に用語集等を本WEBページにアップロードしていきたいと思っております。

# 最後に



現在、新型コロナウイルス感染症予防対策による学校の休校から再開となっている状況となり、学校給食での医教連携を推進している私たちとしましては学校給食再開に向けて何かしらの支援ができないかと考えております。そこで、“**感染予防に即した給食支援マニュアル**”を作成中です。そのため、本WEBページの「アンケート」というページにおいて、学校現場や教育委員会等でのお困りごとや支援体制の工夫などについての5分もかからない簡単なWEBアンケートを実施中です。回答結果を敏速に反映し、更新しながらできる限り**現場応用に直結した内容のマニュアルを目指したい**と思っております。

アンケートは無記名で主に選択式のため、数分で回答ができます。あまり時間も要しませんので、お時間のある時にご協力頂ければ幸いです。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

☆いきょうれんけい【<http://spc.ce.cst.nihon-u.ac.jp/>】☆

